

NO. 47-39

平成 22 年 5 月 20 日

## 新卒者の採用には依然慎重姿勢

— 埼玉県内新規学卒者採用状況調査 —

県内企業を対象に4月中旬実施した「埼玉県内新規学卒者採用状況調査」（回答企業数 301 社、回答率 30.7%）の結果は以下のとおりである。

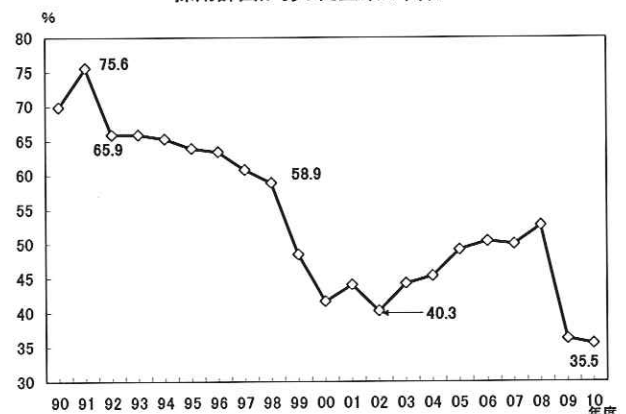
### 1. 新卒者の採用動向

2010 年度に新卒者（2010 年 4 月入社）の採用計画が「有った」企業は、前年度（2009 年 4 月調査）比で 0.7 ポイント減少の 35.5% となり、1983 年の調査開始以来最も低い水準となった。新卒者の採用は依然慎重な姿勢が続いている模様。

新卒者の採用計画は 2002 年度の 40.3% を底に 2008 年度まで回復傾向で推移してきたが、景気の急速な悪化の影響を受け、2009 年度には 36.2% と大幅に落ち込み、今年度はさらに下回る結果となった。

新卒者の採用計画人数の増減については、前年度と比較して「増加した」企業が 11.8%（前年度比 +0.5 ポイント）、「減少した」企業は 27.9%（同 +9.6 ポイント）となった。「減少した」企業が「増加した」企業を大幅に上回っている。

採用計画があった企業の割合



### 2. 採用実績

計画に対する採用の実績は「ほぼ計画通り」が 86.5%（前年度比 +8.0 ポイント）、「やや不足」が 11.1%（同 ▲7.1 ポイント）、「大幅に不足」が 2.4%（同 ▲0.9 ポイント）となった。「ほぼ計画どおり」とする企業が前年度より増加しており、企業側にとって今年度の採用は、計画通り進んだところが昨年度以上に多かったようだ。

「不足」とした企業における、学歴別・職種別の不足状況は（複数回答）、「専門技術」46.4%、「高卒技術」32.1%、「大卒技術」28.6%の順となり、例年同様、技術系の不足が目立つ。

### 3. 来年度の採用計画

来年度（2011 年 4 月入社）の採用計画は、今年度より「増加」とした企業が 11.8%、「変わらない」が 37.3%、「減少」が 7.7%、「未定」が 43.2% となった。

「増加」が「減少」を上回り、来年度の新規採用は改善が見込まれる。ただし、「変わらない」とする企業も 37.3% と多いことから、企業は、新卒者の採用に引き続き慎重な姿勢となっている。

< 埼 玉 県 >

新 規 学 卒 者 採 用 状 況 調 査

(第 2 8 回)

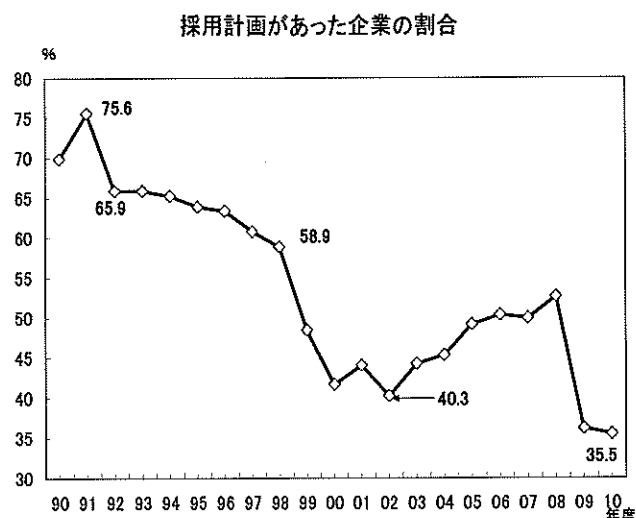
(平成 2 2 年 4 月 中 旬 実 施)

財 団 法 人 埼 玉 り そ な 産 業 協 力 財 団

## 1. 新卒者の採用動向

### (1) 採用計画の有無

2010年度に新卒者（2010年4月入社）の採用計画が「有った」企業は、前年度（2009年4月調査）比で0.7ポイント減少の35.5%となり、1983年の調査開始以来最も低い水準となった。新卒者の採用は依然慎重な姿勢が続いている模様。



新卒者の採用計画は2002年度の40.3%を底に2008年度まで回復傾向で推移してきたが、景気の急速な悪化の影響を受け、2009年度には36.2%と大幅に落ち込み、今年度はさらに下回る結果となった。

業種別にみると、製造業37.6%（前年度比▲5.7ポイント）、非製造業34.1%（同+2.4ポイント）と、製造業で前年度を下回る結果となった。

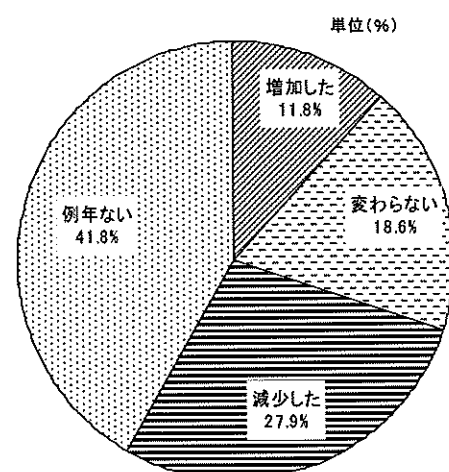
規模別にみると、大企業は81.8%（同+20.9ポイント）、中小企業は31.9%（同▲2.4ポイント）となった。大企業では、前年度を上回ったものの、中小企業では昨年度を下回る低い水準となった。

### (2) 採用計画の増減

新卒者の採用計画人数の増減については、前年度と比較して「増加した」企業が11.8%（前年度比+0.5ポイント）、「減少した」企業は27.9%（同+9.6ポイント）となった。「減少した」企業が「増加した」企業を大幅に上回っている。

業種別にみると、製造業は「増加した」が10.9%（前年度比▲1.4ポイント）、「減少した」は32.8%（同+9.8ポイント）、非製造業は「増加

採用計画人数の前年度比増減



四捨五入の関係上合計は必ずしも100%にならない

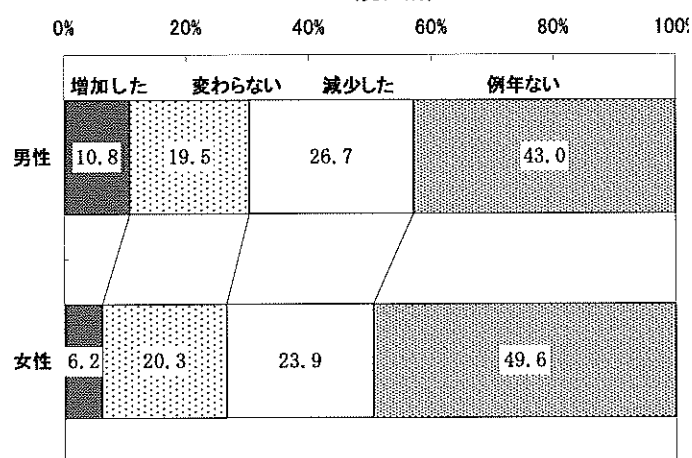
した」が12.4%（同+1.8ポイント）、「減少した」は24.2%（同+5.9ポイント）となり、製造業で「減少した」とする割合が高い。採用計画「有り」とした企業は、非製造業に比べ製造業で若干高かったが、採用計画人数では非製造業に比べ製造業で「減少」とした企業が多い。製造業では、生産の回復など、持ち直しの動きが続いているが水準は依然低く、新卒者採用に対する動きは、いまだ鈍い模様。

男女別にみると、「増加した」は男性が10.8%（前年度比▲0.6ポイント）、女性は6.2%（同▲2.3ポイント）となった。女性の採用計画人数を増やしたとする企業割合は男性より低く、また前年度比でも男性より減少幅が大きいことから、新卒女性にとって雇用環境は男性以上に厳しい模様だ。

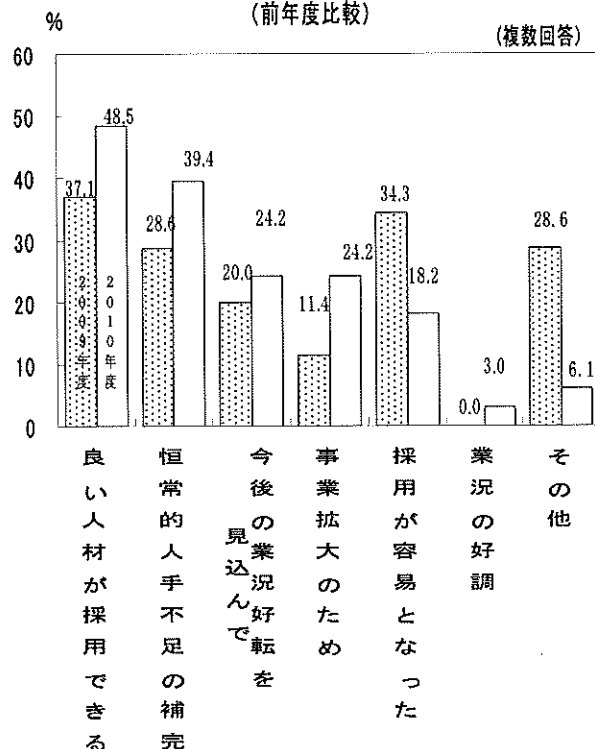
### （3）増加の理由

採用計画が「増加した」企業が、その理由（複数回答）としてあげたのは、「良い人材が確保できる」が48.5%で最も多く、次いで「恒常的人手不足の補完」39.4%となった。前年度比では「採用が容易となった」（前年度比▲16.1ポイント）が減少する一方で、「事業拡大」（同+12.8ポイント）、「良い人材が採用できる」（同+11.4ポイント）などが増加した。採用を増やした企業では、景気が回復しつつあるなか、採用がし易かったといったこれまでの理由から、採用目的が次第に明確化してきているようだ。

採用計画人数の前年度比増減  
（男女別）



採用計画を増加した理由  
（前年度比較）



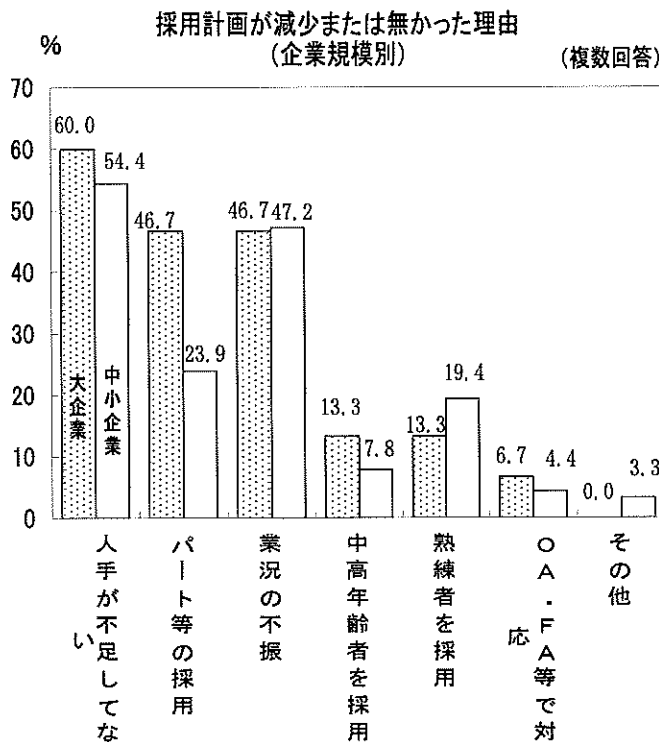
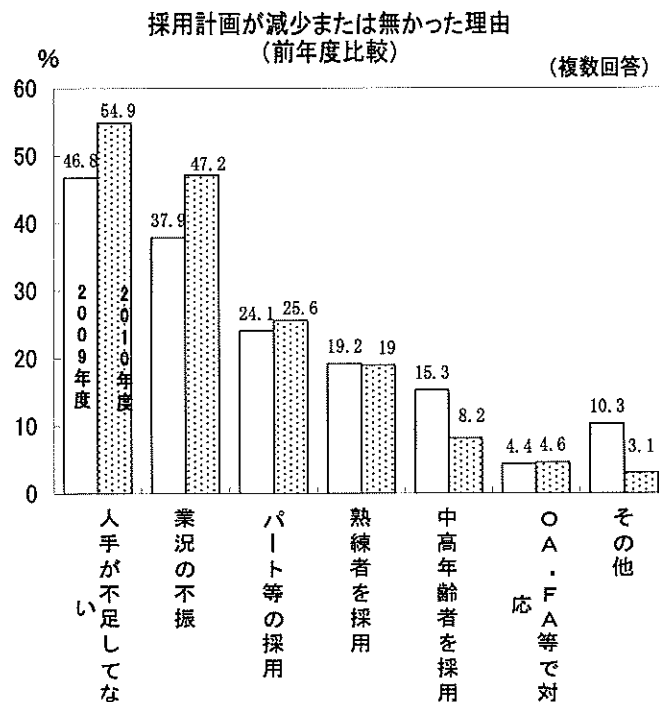
#### (4) 減少の理由

採用計画が「減少」または「無かった」企業がその理由（複数回答）としてあげたのは、「人手が不足していない」が54.9%で最も多く、次いで「業況の不振」47.2%、「パート等の採用」25.6%となり、順位は前回調査（2009年）と同じであった。

前年度と比べると、「業況の不振」が前年度比+9.3ポイント、「人手が不足していない」が同+8.1ポイントと増加となった。景気が徐々に回復してきているとはいえ、業績が回復していない企業や、人手不足にまでいたっていない企業は多く、そうした企業を中心に新卒者の採用は手控えられている模様。

規模別にみると、大企業は「人手が不足していない」（60.0%）、「パートなどの採用」「業況の不振」（ともに46.7%）の順に多く、中小企業では「人手が不足していない」54.4%、「業況の不振」47.2%、「パートなどの採用」23.9%の順となった。

業種別では、製造業は「人手が不足していない」56.1%、「業況の不振」54.9%、非製造業は「人手が不足していない」54.0%、「業況の不振」41.6%となった。



## 2. 採用実績

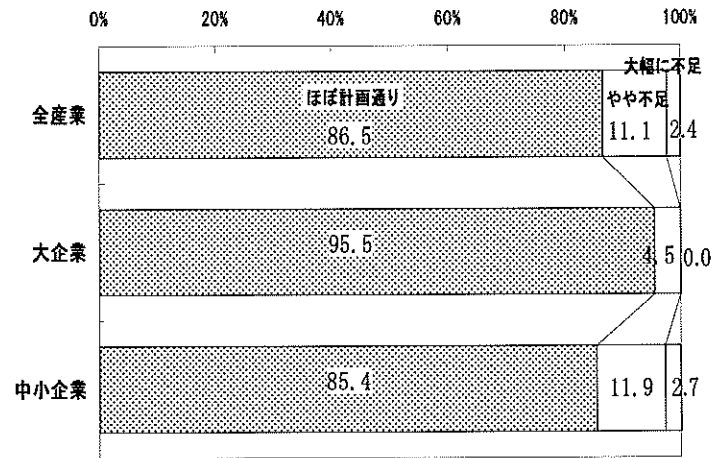
計画に対する採用の実績は「ほぼ計画通り」が86.5%（前年度比+8.0ポイント）、「やや不足」が11.1%（同▲7.1ポイント）、「大幅に不足」が2.4%（同▲0.9ポイント）となった。「ほぼ計画どおり」とする企業が前年度より増加しており、企業側にとって今年度の採用は、計画どおり進んだところが昨年度以上に多かったようだ。

規模別では、「ほぼ計画通り」採用できたのは大企業95.5%（前年度比+17.7ポイント）、中小企業85.4%（同+6.8ポイント）となり、いずれも前年度より増加した。とくに大企業で大幅増となった。

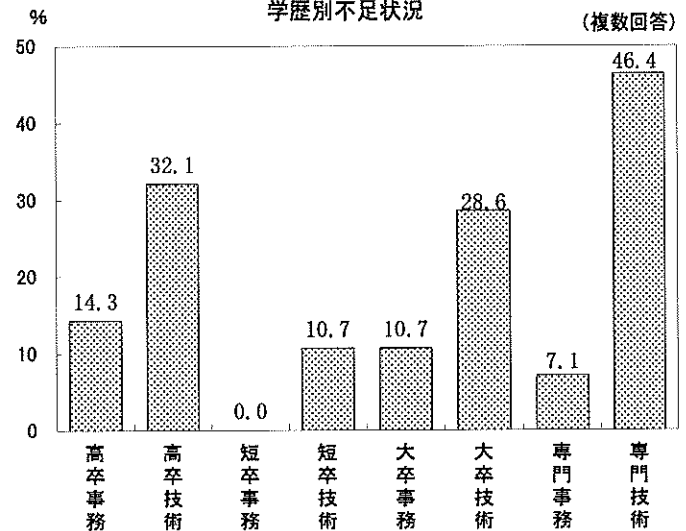
「不足」とした企業における、学歴別・職種別の不足状況は（複数回答）、「専門技術」46.4%、「高卒技術」32.1%、「大卒技術」28.6%の順となり、例年同様、技術系の不足が目立つ。

採用が計画に満たない分の対応策は、「中途採用」が82.1%（前年度比+12.5ポイント）、「パート等の採用」39.3%（同▲4.2ポイント）、「人材派遣会社利用」32.1%（同+14.7ポイント）の順となり、人材派遣の利用の増加が目立った。

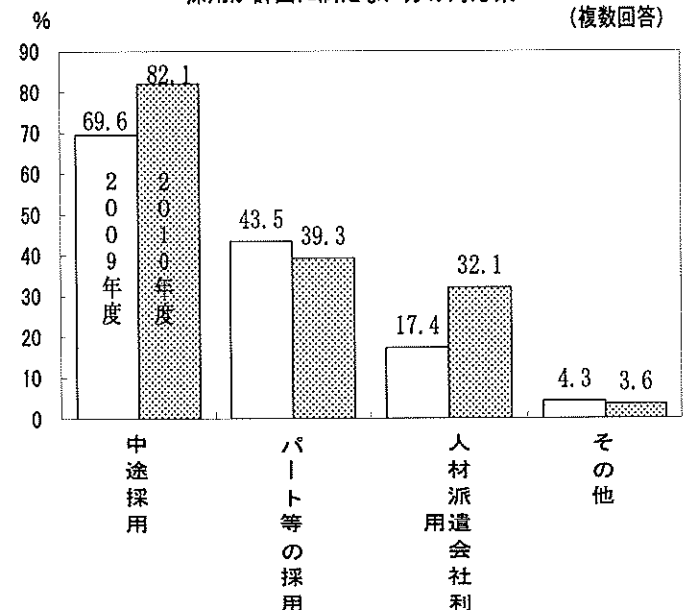
計画に対する採用の実績  
(企業規模別)



学歴別不足状況



採用が計画に満たない分の対応策



### 3. 来年度の採用計画

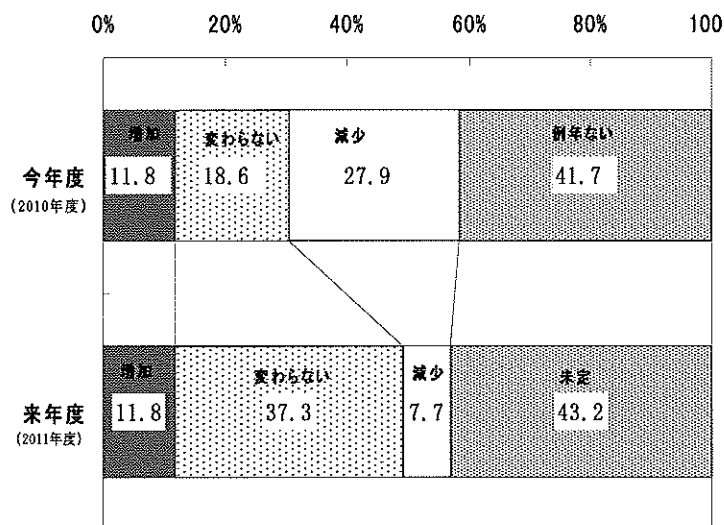
来年度（2011年4月入社）の採用計画は、今年度より「増加」とした企業が11.8%、「変わらない」が37.3%、「減少」が7.7%、「未定」が43.2%となった。

「増加」が「減少」を上回り、来年度の新規採用は改善が見込まれる。ただし、「変わらない」とする企業も37.3%と多いことから、企業は、新卒者の採用に引き続き慎重な姿勢となっている。

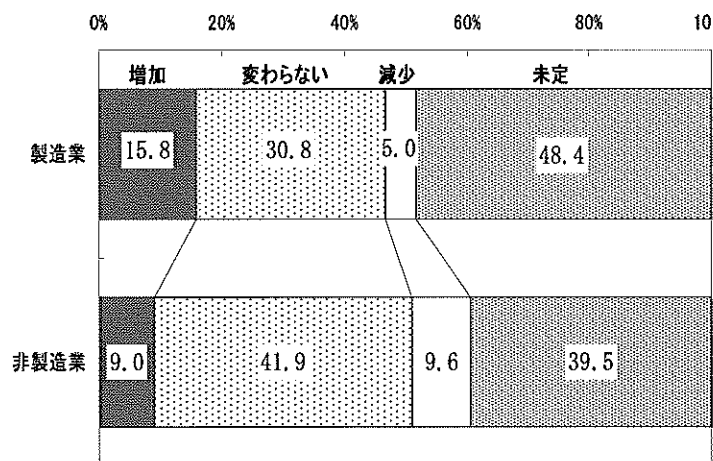
業種別でみると、製造業は「増加」15.8%、「減少」5.0%、「変わらない」30.8%、非製造業では「増加」9.0%、「減少」9.6%、「変わらない」41.9%となっている。製造業で「増加」が「減少」を上回っており、製造業では非製造業と比べると、雇用環境の改善が若干進むと見込まれる。

規模別では、大企業が「増加」22.7%、「変わらない」36.4%、「減少」18.2%、中小企業では「増加」10.9%、「変わらない」37.4%、「減少」6.8%となった。大企業、中小企業ともに「増加」、「減少」の差が小さく「変わらない」が多いことから、規模に変わりなく新卒者採用に慎重な模様。

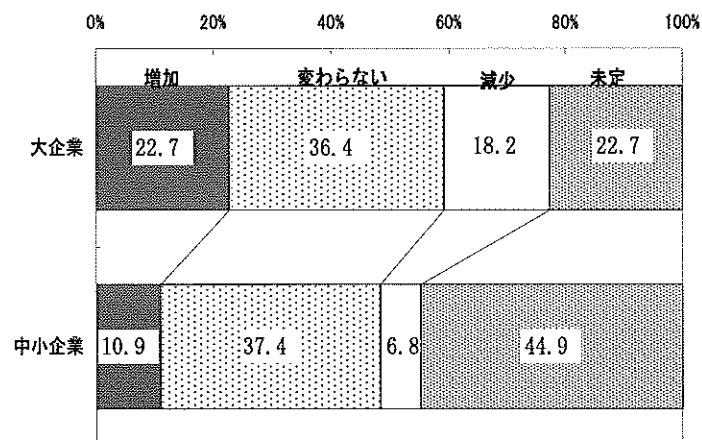
採用計画人数の前年度比増減  
(前年度比較)



来年度の採用計画(業種別)



来年度の採用計画(企業規模別)



## 4. インターンシップの活用状況

新規学卒者の採用にあたって、インターンシップ（学生・生徒が在学中に企業で就業体験を行う制度）を活用したことがあるかどうかについて調査した。

それによると、「活用しており、今後も続けるつもり」とする企業は19.7%（前年度比▲0.9ポイント）で、前年度比ほぼ横ばいであった。また、「活用したことはないが、今後活用してみたい」も13.3%（同+1.1ポイント）と、1割程度にとどまり、前年度比で横ばいであった。新卒者採用に向けた企業側の動きが鈍いなか、求職者に向けて企業を知ってもらうことに注力する企業は増えていないようで、インターンシップの活用は進んでいない結果となった。

なお、「活用したことはなく、今後も活用するつもりはない」とするインターンシップに興味を示さない企業も49.1%（同▲4.6ポイント）と、半数近くに及ぶ。

規模別にみると、「活用しており、今後も続けるつもり」が大企業では18.2%、中小企業では19.8%と、規模別で大きな差はなかった。ただ、「活用したことは無いが、今後活用してみたい」は大企業で31.8%、中小企業で11.7%と大企業で興味を示す企業割合が高かった。

業種別では、「活用しており、今後も続けるつもり」が製造業で21.4%、非製造業で18.5%、「活用したことは無いが、今後活用してみたい」は製造業で12.8%、非製造業で13.6%と業種間で大差はなかった。

新規学卒者採用に当たってのインターンシップ活用状況

(%)

	全産業	企業規模別		業種別	
		大企業	中小企業	製造業	非製造業
活用しており、今後も続けるつもり	19.7	18.2	19.8	21.4	18.5
活用したことはないが、今後活用してみたい	13.3	31.8	11.7	12.8	13.6
活用してみたいが、具体的な手法がわからない	5.7	4.5	5.8	6.0	5.6
活用したことはあるが、今後活用するつもりはない	9.0	-	9.7	11.1	7.4
活用したことはなく、今後活用するつもりはない	49.1	45.5	49.4	43.6	53.1
その他	3.2	-	3.6	5.1	1.8

四捨五入の関係上、必ずしも各項目の合計は100.0%にならない



# 調査要領

## 1. 調査の目的

埼玉県内企業における新規学卒者の採用状況、ならびに来年度の採用計画を調査し、地域内企業の経営判断の参考に供し、もって地域経済の発展に寄与することを目的としています。

## 2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出。産業分類は日本標準産業分類に基づいて製造業15業種、非製造業9業種、計24業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

## 3. 調査方法

アンケート方式

## 4. 調査時期

平成22年4月中旬

## 5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業979社のうち301社（回答率30.7%）。回答企業の業種別内訳とそのうち中小企業（中小企業庁方式）の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比	
			(%)	うち中小企業の 占める比率 (%)
全 産 業	979	301	100.0	92.7
製 造 業	305	125	41.5	96.0
食 料 品	22	4	1.3	100.0
織 維	13	7	2.3	100.0
化 学	19	15	5.0	86.7
窯 業 ・ 土 石	11	4	1.3	100.0
鉄 鋼	8	2	0.7	100.0
非 鉄 金 属	11	4	1.3	75.0
金 属 製 品	35	15	5.0	100.0
一 般 機 械	32	8	2.7	100.0
電 気 機 械	32	13	4.3	100.0
輸 送 機 械	29	14	4.7	85.7
精 密 機 械	19	6	2.0	100.0
木 材 ・ 木 製 品	11	6	2.0	100.0
パ ル プ ・ 紙	12	4	1.3	100.0
印 刷	19	8	2.7	100.0
そ の 他 製 造	32	15	5.0	100.0
非 製 造 業	674	176	58.5	90.3
卸 売	80	31	10.3	90.3
小 売	144	28	9.3	75.0
建 設	97	31	10.3	100.0
不 動 産	42	12	4.0	100.0
運 輸 ・ 倉 庫	32	11	3.7	81.8
電 気 ・ ガ ス	10	4	1.3	100.0
情 報 通 信	11	4	1.3	100.0
飲 食 店	65	10	3.3	90.0
サ ー ビ ス	193	45	15.0	91.1